

## 食品残留農薬試験結果

### 【食品化学科】

毎年、定例の行政検査として県内産主要農作物の残留農薬試験を実施している。

平成10年度については、ねぎ、らっきょう、きゅうり、すいか、二十世紀梨、豊水梨、キャベツ、柿並びに玄米の9品目42件について、食品衛生法に基づく規格基準が設定されている24～38農薬（カドミウムを含む）、合計1,401項目の残留量試験を実施した。

その結果は下表に示すとおりであり、ねぎにつ

いてフェンバレレートが0.01ppm、きゅうりについてディルドリンが0.006ppm、二十世紀梨についてフェニトロチオンが0.01ppm、豊水梨についてフェンバレレートが0.021ppm、クロルピリホスが0.02ppm、フェニトロチオンが0.02～0.17ppm、柿についてフルバリネートが0.01ppm、玄米について重金属としてのカドミウムが0.01～0.18ppm検出されたものの、すべての検体が規格基準に適合していた。

表1 食品残留農薬試験結果

検体名	採取月	検体数	試験項目数	試験結果 (単位: ppm)
ねぎ	5	5	26	フェンバレレート (0.01) 1件 その他すべて不検出
らっきょう	6	5	24	すべて不検出
きゅうり	6	3	36	ディルドリン (0.006) 1件 その他すべて不検出
すいか	7	5	31	すべて不検出
二十世紀梨	8	6	38	フェニトロチオン (0.01) 1件 その他すべて不検出
豊水梨	8～9	5	38	フェンバレレート (0.021) 1件 クロルピリホス (0.02) 1件 フェニトロチオン (0.02～0.17) 3件 その他すべて不検出
キャベツ	10	3	35	すべて不検出
柿	11	3	33	フルバリネート (0.01) 1件 その他すべて不検出
玄米	11	7	38	カドミウム (0.01～0.18) 6件 その他すべて不検出
合計		42	1,401	